

2012年度の年度計画である「情報セキュリティ2012」の策定に資するため、情報セキュリティ政策の評価等の実施方針に基づき、2011年度の情報セキュリティ政策の評価等を実施

評価等のコンセプト

環境変化への対応

評価対象年度においてどのような環境変化があったかなどを把握し、これに適合した施策が実施できているかどうかという点に重点を置いて検証。

脅威への対処

脅威が現実のものとなった際に適切な対処を行うことが可能となっているかどうかといった点に重点を置いて検証。

総括的な評価

情報セキュリティ政策の俯瞰的な改善を行っていくため、年度計画に記載された政策分野に着目し、取組の結果を総括的に検証。

取組の見直しに資する評価

「克服や解決が必要となる事項」等、的確な情報セキュリティ政策を推進するに当たって喫緊に対応すべき課題を抽出。

2011年度の評価等の概要

2011年度の環境変化

- 本格的なサイバー攻撃の発生と深刻化
- 社会経済活動の情報通信技術への依存度の更なる高まりとリスクの表面化
- 新たな技術革新に伴う新たなリスクの出現
- 重大な情報システム障害のリスク回避に向けた取組の必要性の高まり
- 諸外国における取組の強化

総評

主要な取組は次のとおり概ね着実に進ちよくしたものの、情報セキュリティをめぐる上記の環境変化とそれに伴う新たな脅威へのさらなる対応が求められる。

- サイバー空間の基本的考え方の実現に向けた対応が進められた。
- 情報セキュリティの脅威の高度化・多様化に対応した能動的な対応が進展した。
- 東日本大震災を踏まえた情報セキュリティ分野における対応が進められた。

課題

環境変化に対応した情報セキュリティ政策の推進

- 国の安全に関する重要な情報を扱う企業等に対する高度な脅威への対応の強化
- スマートフォンの本格的な普及等新たな情報通信技術の広まりに伴うリスクの表面化に対応した安全・安心な利用環境の整備
- 国際連携の強化